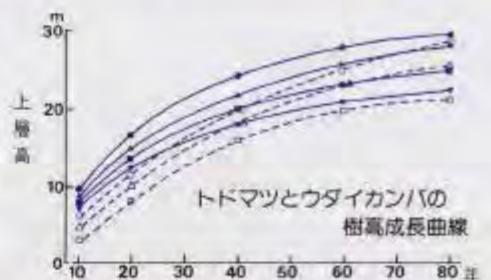


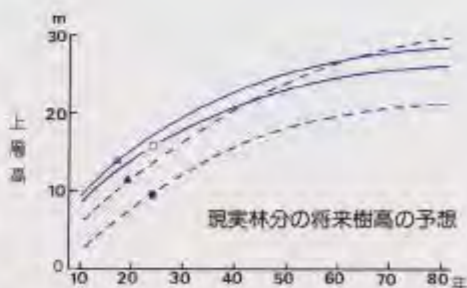
トドマツとウダイカンバの競り合い

トドマツを植栽し、下刈などを行っていくとカンバ類が侵入することがよくあります。このような場合、カンバ類とトドマツの樹高成長をくらべて、成長のよい方の樹種を主体にして育成するのが合理的です。

そこで、トドマツ人工林に材価が高いウダイカンバが侵入した事例を示すことにします。両者の地位別の樹高成長曲線は上図に示したとおりです。現実林分の林齢と上層高の関係がどの樹高成長曲線に該当するか調べ、その該当する線をたどっていくと、将来、トドマツの方が樹高が高くなる場合とウダイカンバが依然として高い場合に分かります(下図)。トドマツが上回る場合(例1)は、トドマツを集団で残し、カンバは形質のよいもののみを残すようにします。逆の場合(例2)は、下刈でカンバの成長をおさえて針広混交林に誘導するか、カンバ類を優先させた方がよいでしょう。



実線は上からウダイカンバの特I, II, III, IV等地
点線は上からトドマツの特I, II等地



三角印は例1を、丸印は例2を表す。

例1



例2

